

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	・GH康寿苑の入所者のケアプラン作成において、自宅復帰を目標にケアを検討する必要を実地指導されている。計画作成担当者は家族と連携しながら外泊の機会を作り必要がある。	そのご利用者・ご家族に応じた形で、自宅での外出・外泊を検討し、ケアプランに盛り込み、実現していく。	・実現可能なプランをご家族と検討し、外出・外泊計画をケアプランに盛り込む事で、在宅復帰を目指した日々のケアを行っていく。	12ヶ月
2	4	・運営推進会議にて、施設内での転倒や身体拘束の有無などの報告が行えていない。そういった取り組みを紹介する事で、GHの透明性の向上が図れる。	毎回の運営推進会議において、今回課題として挙げた「転倒・事故」「身体拘束の有無」の報告を追記して行う。	・運営推進会議資料における「転倒・事故」「身体拘束の有無」に関する状況を記載する。 ・運営推進会議において、資料を参考に上記の二点を口頭で報告する。	6ヶ月
3	35	・災害時に必要な備蓄は行っているものの、その備蓄リストを作成していない。	備蓄リストを作成し、災害に備える。	・備蓄リストの作成 ・職員による月1回の確認	6ヶ月
4	54	・感染症(新型コロナ)のため、家族の面会や外出等が難しく、ご利用者の楽しみが例年に比べ減っている。	感染症の状況を見ながら、外出・外泊を含め、ご家族の協力を仰ぎながら、ご利用者の生きがい作りを行う。	・感染症の流行の中行えるイベントや面会の仕方を検討し、実行する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。